6/23

6.20大学立法粉砕約1600名の大衆的決起から70年秋路に対決

本日、安保粉砕府民共闘、全大阪全共闘集会

明日、全関西全共闘出入国管理法案粉砕闘争

全学共闘会議

全市大の学友諸君！今や、全国の大学で大学治安立法粉砕の炎がまき起こっている。6.15闘争の全人民的爆発に首都三万、関西一万の結集をかちとった全共闘のヘゲモニーにより、首都―国会、関西―御堂筋を軸に巨大な立法粉砕の大衆的高揚がかちとられ、この学生戦線の大闘いは、生産点に依拠した労働者反戦派の闘争―職場実力闘争を基軸に反戦闘争、賃金闘争、反合闘争など全面にわたって尖鋭な闘いを展開させている労働者の闘いと共に70年前半における新たな大衆的高揚を形成しつつある。一方、佐藤政府は、愛知訪米からASPACへと70年安保の内実の確立へ向けて外交政策を展開しつつ、一方で、大学治安立法をはじめ防衛二法、出入国管理法、健保など自自押しに並んで帝国主義諸立法を今国会で一気に制定せんとしている。ヴェトナム危機―ドル危機の連鎖から戦後的世界集約力を失ったドル、核帝国主義は、米ソ共存だけを唯一の安定基軸にしながら、西において、ドゴール退陣とフラン、ポンド危機、東においてはベトナム情勢悪化、ベトナム臨時革命政府樹立により今や帝国主義者の敗北は決定的となった。世界階級闘争は、今まさに巨大な攻勢へ転移しはじめようとしている。70年安保、沖縄はこのような革命的危機の到来に対して、政府革命に対決する帝国主義的再編、致命的一環であり愛知訪米―ASPACはこの一環をにぎりしめる事によって日本帝国主義体制の維持、強化をはかろうとする佐藤安保推進、治安内閣の政治的努力としてあっただろう。政府は6月7日闘争を軸として70年前段闘争において決定的なり月佐藤訪米阻止・米日首脳会談粉砕の闘いに向っての予防反革命に対決する帝国主義的再編、致命的一環であり愛知訪米―ASPACはこの一環をにぎりしめる事によって日本帝国主義体制の維持、強化をはかろうとする佐藤安保推進、治安内閣の政治的努力として70年前段闘争において決定的なり月佐藤訪米阻止・米日首脳会談粉砕の闘いに向っての当面的な政治過程に入り、みつつあるのだ。我々は昨年来の全国学生戦線の展開から、更に治安立法粉砕闘争でまきおこした大衆的爆発を政治中央闘争として展開する中から70年総路線に対する戦いにまで向せしめる是非70年政治過程に鋭く切り込んでいく闘争をかちとらなければならないだろう。